

「JA0 と私～インプラント治療を通じて学んだ事～」

私が JA0 に入会させて頂き 18 年が経過した。JA0 会長であられる村上齋先生と初めて出会ったのは 2008 年頃である。どのようにして知り合ったかと言うと歯科材料業者（株）ササキさんの紹介であった。当時の自分は開業して間もない頃で、インプラント治療の経験は開業前の勤務先でのわずかたった一症例であった。インプラントの器具も購入していない状況であり、度胸も無く一人でインプラント治療を始められる状態ではなかった。そんな中で（株）ササキさんの担当者は「先生、もしインプラントをされるのであれば、東桜のソフィアインプラントセンター村上齋先生を紹介しますので、一次手術をお願いすると言うのはどうでしょうか。まず先生は、補綴から始められるとよろしいかと思われませんがどうでしょうか？」というアドバイスをもらった。（しかし後ほどインプラント治療は埋入も大事であるか、適切な補綴形態、咬合を与えることもより難しく重要であるということがわかったのであるが、、、、、、）

村上先生に 2 症例ほど一次オペを依頼した後、自分は卒後研修グループのジアズへ通い始め歯周治療を学んだ。当時私事であるが育児を行いながらの歯科医院の経営は多忙を極め、JA0 には参加が困難な時期もあったが、最近では二人の娘も同じ歯科医師の道へ進む事となりやっと少しずつ時間が持てる様になったので再び JA0 の活動に参加する時間が持てる様になった。

インプラント治療に関して自分一人では何も出来なかった私が村上先生はじめ会員の先生方の助けをお借りして何とかこれまで診療を継続してこられた事に感謝し、大変拙く、お恥ずかしい症例ではあるがこの様な機会を頂いたので「インプラント治療を通じて顎関節を考察する」というテーマで症例を供覧させて頂き、ご批判ご指導を賜れば幸いに存ずるところである。

略歴

1996 年福岡県立九州歯科大学卒業

2002 年愛知県豊田市小島歯科勤務

2008 年愛知県名古屋市にて開業

2022 年朝日大学歯学部口腔感染医療学講座歯周病学分野大学院長期履修生

2024 年北区平安通に移転開業